



令和5年度 秋田県消防功労者表彰式



題 字
初代会長 松野 盛吉
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋 正尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubairainsatsu.co.jp>



消防庁長官表彰

令和5年度秋田県消防功労者表彰式が秋田県及び秋田県消防協会の主催により、3月22日(金)に秋田県庁第二庁舎で開催され、受賞者など約150人が出席しました。
式典では、消防庁長官表彰、秋田県知事表彰、日本消防協会定例表彰が伝達され、最後に受賞者を代表して佐々木忠雄 大仙市消防団副団長が謝辞を述べました。
皆様、誠におめでとうございます。



佐々木副団長代表謝辞



日本消防協会長表彰

2024年度全国統一防火標語
守りたい
未来があるから
火の用心



前列右から4人目 秋田市永澤団長、
2列目右から2人目 五城目町千葉団長

水防功労者国土交通大臣表彰の表彰式が開催されました
1月31日(水) 国土交通省において、令和5年度水防功労者国土交通大臣表彰式が行われ、本県から秋田市消防団と五城目町消防団が受賞しました。誠におめでとうございます。
この表彰は、水防管理者の管轄の下に水防に従事し、著しい功績があった団体及び個人を表彰する制度で、昭和26年より実施しています。令和5年度は、6団体、17名の個人が受賞しました。

消 防 庁 長 官 表 彰

◆功 勞 章 (1名)

秋田市消防本部 消防正監 工 藤 琢 磨

◆永年勤続功労章 (70名)

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	小笠原 伸 一	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	佐々木 伸 吾
秋田市消防本部	消 防 監	渡 辺 邦 博	秋田市消防本部	消防司令長	木 村 浩
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	小杉山 正 喜	秋田市消防本部	消防司令長	斉 藤 広 幸
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	次 田 肇	大館市消防本部	消防司令長	高清水 優
由利本荘市消防本部	消防司令長	高 橋 忠 英	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	高 橋 倫
横手市消防本部	消防司令長	竹 澤 全 元	能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	田 村 俊 英
北秋田市消防本部	消防司令長	中 嶋 忍	横手市消防本部	消防司令長	原 田 明 宏
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	藤 木 克 枝	由利本荘市消防本部	消防司令長	村 上 英 喜
秋田市消防本部	消防司令長	若 狭 政 勝	鹿角広域行政組合消防本部	消 防 司 令	木 村 正 樹

三種町消防団	副 団 長	池 内 清 浩	横手市消防団	副 団 長	泉 昌 宏
潟上市消防団	副 団 長	越 後 道 明	八峰町消防団	副 団 長	金 平 多三夫
大館市消防団	副 団 長	川 田 和 徳	大仙市消防団	副 団 長	佐々木 忠 雄
秋田市消防団	副 団 長	佐 藤 孝	北秋田市消防団	副 団 長	佐 藤 将 人
大仙市消防団	副 団 長	進 藤 峰 晴	にかほ市消防団	副 団 長	須 田 敦
大仙市消防団	副 団 長	高 橋 武 美	大仙市消防団	副 団 長	西 村 久
五城目町消防団	副 団 長	宮 崎 博 之	八郎潟町消防団	分 団 長	浅 野 政 信
仙北市消防団	分 団 長	安 達 政 治	能代市消防団	分 団 長	荒 木 芳 美
横手市消防団	分 団 長	嵐 田 圭 一	北秋田市消防団	分 団 長	出 川 信 久
大館市消防団	分 団 長	伊 藤 稔 彦	仙北市消防団	分 団 長	蘭 藤 博 行
秋田市消防団	分 団 長	植 田 一	羽後町消防団	分 団 長	大 庭 久 志
能代市消防団	分 団 長	大 山 薫	由利本荘市消防団	分 団 長	鎌 田 敏
大潟村消防団	分 団 長	川 崎 健 次	秋田市消防団	分 団 長	岸 重 法
鹿角市消防団	分 団 長	齊 藤 大 助	藤里町消防団	分 団 長	齋 藤 等
男鹿市消防団	分 団 長	佐 藤 勝 則	由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 正 樹
横手市消防団	分 団 長	柴 田 康 孝	横手市消防団	分 団 長	菅 原 守
由利本荘市消防団	分 団 長	須 田 充	男鹿市消防団	分 団 長	高 田 照 彦
横手市消防団	分 団 長	高 橋 和 美	東成瀬村消防団	分 団 長	高 橋 広 美
湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 喜 信	井川町消防団	分 団 長	武 埴 喜 一
男鹿市消防団	分 団 長	角 崎 裕 継	美郷町消防団	分 団 長	戸 澤 靖 幸
鹿角市消防団	分 団 長	畠 山 広 喜	秋田市消防団	分 団 長	藤 井 正 人
大仙市消防団	分 団 長	藤 澤 進	秋田市消防団	分 団 長	船 木 勇 一
秋田市消防団	分 団 長	保 坂 一	由利本荘市消防団	分 団 長	村 上 憲 四 郎
小坂町消防団	分 団 長	目 時 勝	横手市消防団	分 団 長	最 上 浩
鹿角市消防団	分 団 長	柳 沢 誠	由利本荘市消防団	分 団 長	渡 辺 憲
大館市消防団	副 分 団 長	大 森 治	由利本荘市消防団	副 分 団 長	工 藤 正 一

◆竿頭綬 (1 消防機関・1 消防団)

秋田市消防本部・秋田市消防団

日本消防協会会長表彰

◆優良消防団 (表彰旗) (1 消防団)

大潟村消防団

◆優良消防団 (竿頭綬) (3 消防団)

鹿角市消防団 五城目町消防団 東成瀬村消防団

◆功績章 (18名)

鹿角市消防団	副 団 長	高 橋 実	大館市消防団	副 団 長	花 田 寿
大館市消防団	部 長	伊 藤 房 子	北秋田市消防団	副 団 長	武 石 稔
能代市消防団	副 団 長	梶 原 芳 一	三種町消防団	副 団 長	近 藤 優
潟上市消防団	団 長	門 間 勉	五城目町消防団	団 長	千葉 與右工門
秋田市消防団	副 団 長	佐々木 徹	秋田市消防団	分 団 長	塚 田 貢 才
由利本荘市消防団	副 団 長	村 上 吉 和	にかほ市消防団	副 団 長	佐々木 良 二
大仙市消防団	副 団 長	進 藤 文 隆	仙北市消防団	副 団 長	下 田 忠 浩
横手市消防団	副 団 長	高 橋 広 三	横手市消防団	副 団 長	柿 崎 孝 一
湯沢市消防団	分 団 長	石 田 均	羽後町消防団	分 団 長	土 田 良 悦

◆精績章 (43名)

鹿角市消防団	分 団 長	成 田 広 一	小坂町消防団	分 団 長	目 時 勝
大館市消防団	分 団 長	畠 山 幸 夫	北秋田市消防団	副 団 長	福 岡 仁
北秋田市消防団	分 団 長	出 川 信 久	上小阿仁村消防団	副 分 団 長	北 林 繁 樹
能代市消防団	分 団 長	荒 木 芳 美	能代市消防団	分 団 長	嶋 田 広 達
能代市消防団	分 団 長	大 山 薫	藤里町消防団	分 団 長	佐々木 文 孝
男鹿市消防団	副 団 長	千 田 信 男	潟上市消防団	副 団 長	越 後 道 明
五城目町消防団	副 団 長	石 井 巧	八郎潟町消防団	副 団 長	渡 部 勝 則
井川町消防団	分 団 長	鈴 木 正 彦	秋田市消防本部	消防司令長	高 橋 公 成
秋田市消防本部	消防司令長	宇佐美 晃 市	秋田市消防本部	消防司令長	木 村 浩
秋田市消防団	分 団 長	尾 形 新 一	秋田市消防団	分 団 長	五十嵐 弘 美
由利本荘市消防団	副 分 団 長	東 海 林 一	由利本荘市消防団	分 団 長	高 野 和 文
由利本荘市消防団	分 団 長	石 井 忠 幸	由利本荘市消防団	分 団 長	柴 田 晃 央
にかほ市消防団	分 団 長	相 良 裕	にかほ市消防団	部 長	佐々木 恵 子
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	進 藤 和 弘	大仙市消防団	副 団 長	佐々木 忠 雄
大仙市消防団	副 団 長	佐 藤 秀 世	仙北市消防団	副 団 長	武 藤 重 和
仙北市消防団	班 長	西 宮 三 春	美郷町消防団	分 団 長	久 米 春 男
横手市消防団	副 団 長	泉 昌 宏	横手市消防団	分 団 長	高 橋 和 美
横手市消防団	分 団 長	嵐 田 圭 一	横手市消防団	分 団 長	最 上 浩
横手市消防団	分 団 長	高 橋 剛	横手市消防団	分 団 長	佐 藤 賢 一
湯沢市消防団	分 団 長	篠 田 真	湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 浩 昭
羽後町消防団	分 団 長	和 賀 正 由	湯沢市消防団	副 分 団 長	阿 部 美 喜 夫
湯沢市消防団	副 分 団 長	高 橋 一 久			

◆永年勤続者表彰 (都道府県消防協会等役職員) (1名)

秋田県消防協会 主 査 石 山 和 美

今後の消防団のあり方、 役割を考えるシンポジウム を開催しました

近年、急速に進む消防団員の減少によって、地域防災力の確保に深刻な影響が出るのが危惧されています。本県でも加入促進が喫緊の課題となっています。

新たな消防団員の加入を促進するためには、若い世代がやりがいを実感し、誇りを持って活動出来る消防団であることが重要です。

このため、若い世代の考えを発信し共通の認識を深めることを目的に、2月17日(土)イヤタカ(秋田市中通)においてシンポジウムを開催し、消防団や消防本部の関係者約150名が参加しました。

初めに、消防団充実強化アドバイザーの愛知県安城市消防団元団長太田佳男氏が「何の為に? なんのために? ナンノタメニ?」と題して、6年間の団長在任中に手掛けた多くの改革とその成果について講演し、次に、県内3カ所で開催したワークショップにおける若手の意見発表や、県内消防団による発表、「私たちが望む消防団」というテーマで、発表者がパネルディスカッションを行いました。

シンポジウムの詳細は、消防秋田号外号(3月28日)をご覧ください。



湯沢市 池田菜那さん



会場の様子



太田佳男氏

防災活動車が交付されました

日本消防協会から大仙市消防団に福祉増進事業による車両が交付され、同消防団から御礼のメッセージが寄せられました。

このたび受贈いたしました消防団防災学習・災害活動車につきましては、消防団を中核とした総合的な防災力の充実強化を図るため、災害時における人員や資機材等の搬送のほか、地域住民や事業所等に対する防災学習、防災指導に活用したいと思っております。

大仙市消防団 団長 田村 健郎



消防職員意見発表秋田県大会

秋田県消防長会

第47回

第47回消防職員意見発表秋田県大会が、2月9日(金)ホテルメトロポリタン秋田で行われ、最優秀賞1名、優秀賞2名が選ばれました。

本稿では、最優秀賞に輝いた大森柁さんの意見を紹介します。

■最優秀賞

大館市消防本部

消防士 大森 柁

■優秀賞

鹿角広域消防本部

消防副士長 金澤 直大

大曲仙北広域消防本部

消防士 細井 健太

私でも消防士になれますか

大館市消防本部

大森 柁

「私でも消防士になれますか:」ある友人に聞かれました。

「なれると思うよ」

私が答えた後、その友人は少し不安げにこう続けました。

「トランスジェンダーの私でも?」

私はそこで初めて、友人は心と体が一致しない「トランスジェンダー」だと知りました。今までそういった素振りを見せなかった友人

からのカミングアウトに、私は戸惑いを隠せず、ただ「なれると思うよ」と安易に答えたことを後悔しました。

ここ数年でよく耳にするようになった「ダイバーシティ」「多様性」という言葉。障害の有無や性別にかかわらず、誰もが自分らしく生きられる社会を意味するものです。冒頭で述べたような性自認についても理解が叫ばれるようになり、パートナーシップ制度が導入されるなど、私たちが巻き取ってきた価値観からの脱却が図られようとしています。

2023年の民間の調査では、性的マイノリティーを表す「LGBTQ+」は国内人口の10%を占めるとされ、各消防本部において数十人規模でもおかしくないのです。そう考えた場合、厳格な指揮命令系統や、24時間の共同生活といった特殊な勤務体制を基盤とする今の消防に、果たして「彼ら・彼女ら」の居場所はあるのでしょうか。

漠然とした、答えの出しづらい課題を前にして、私は管理職をはじめとする職員間で「LGBTQ+」をテーマとしたワークショップを開催しました。性的マイノリティーとはどういう人たちを指すのか、「彼ら・彼女ら」はどんな悩みを抱えているのか。それぞれの考えや知識を共有しながら、意見交換を行いました。参加者からは「性転換手術などを

行い心と体の性を一致させればいいと思っていた」との発言から誤解や無意識の偏見が、すぐに身近にあると気づきました。

一方、自分の性自認あるいは性的指向を打ち明けることで、これまで人間関係が壊れてしまうのではないかと不安感については、消防という高い協調性が求められる組織内において、「そもそも自身の性について打ち明けづらいのでは」「自分の周りにはいないと勝手に思っていたが、カミングアウトできず知らないだけなのかもしれない」との声が上がり、こうしたディスカッションを通じて、多様性に対する理解が一步進み、着実に居場所が作られていくものと感じています。

受け入れる優しさを組織内で醸成していくこと。その姿勢が、職員間の良好な関係性を築き、次世代の消防を作り上げていく上でとても重要なのだと思います。

閉鎖的で男性の職場というイメージが、まだまだ払拭できていない消防が、多様性を受け入れて誰もが活躍できる、つながり支え合う組織を目指すことで、現代社会への強いメッセージとなり得るはずです。

すべての人に胸を張って、「あなたも消防士になれますよ」そんな風に即答できる、思いやりあふれる消防に向かうことを、私は強く望みます。

意見発表のテーマと発表者名

- (1) スマホとAED
由利本荘市消防本部 大森 峻 真
- (2) その1本を減らすために
能代山本広域市町村圏組合消防本部 戸松 恒 希
- (3) 熊が出る街で…
秋田市消防本部 澤田 峻
- (4) 小さな積み重ね
五城目町消防本部 福嶋 良 磨
- (5) 消防人生とその後の人生
湖東地区消防本部 菅原 和 希
- (6) 雪害対応から始まる未来の地域づくりを
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 佐藤 惣太郎
- (7) こうなったらいいな
鹿角広域行政組合消防本部 金澤 直 大
- (8) 山岳事故ゼロを目指して
にかほ市消防本部 須藤 步 夢
- (9) 共有する消防安心デジタルマップ
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 細井 健 太
- (10) 救急活動で最も重要なこと
北秋田市消防本部 柴田 陸 斗
- (11) 地域防災力の強化を目指して
男鹿地区消防本部 加藤 広 大
- (12) 思いやりで理解し合える社会に
横手市消防本部 柴田 俊 弥
- (13) 私でも消防士になれますか
大館市消防本部 大森 柊



大森 柊 さん(最優秀賞)

「消防団加入促進モデル事業」を実施します

消防団員の減少や高齢化に伴い地域防災力の低下が危惧されるなか、団員の加入促進につなげるため、県は、令和5年度から消防団加入促進モデル事業を実施しています。

令和6年度は、広報の強化に力点を置き、次の三つの事業を行います。

①市町村が実施する消防団活動のPRに対する支援

従来の消防団活動体験型イベントのほか、市町村が新たに取り組むPR活動も対象とする。

②県による消防団活動のPR

県が発行する広報紙(5月号)に消防団のPR記事を掲載し、県内全戸配布により多くの人に見てもらおう。

③若手及び女性消防団員によるイベント運営及びPR

秋田魁新報社と秋田赤十字看護大学が中心となって開催する「あきた防災キャンプフェス」にブースを設け、団員の加入促進に繋がるPRを行う。

①は、実施する市町村に対して県が補助金を交付します。

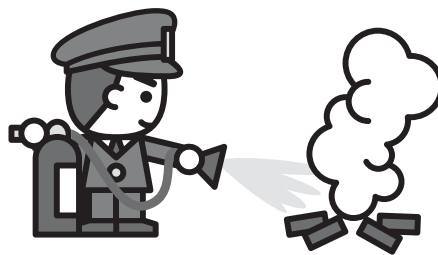
③は、秋田県消防協会が県から委託を受けて実施するもので、各支部から推薦された消防団員で構成する準備委員会で詳細を検討します。

◆ 消防団員研修 ◆

秋田県消防学校

Table with 3 columns: 消防団名, 階級, 氏名. Lists names of firefighters from various municipalities like 鹿角市, 北秋田市, etc.

第68期基礎教育. 教育期間: 令和6年3月9日(土)~3月10日(日). Includes a group photo of participants and logos.





株式会社 高義商会. トーハツ消防ポンプ, モリタ自動車ポンプ, 消防被服全般. Includes an image of a fire pump.

株式会社 夕力ギ. 秋田県横手市寿町1番28号. TEL (0182) (32) 3880. Includes a list of services.

◆ 消 防 団 員 研 修 ◆

秋田県消防学校

第 6 期幹部教育指揮幹部科現場指揮課程			第 9 期幹部教育指揮幹部科分団指揮課程			
令和 6 年 3 月 16 日(土)～ 3 月 17 日(日)			教育期間	令和 6 年 3 月 2 日(土)～ 3 月 3 日(日)		
22 人 (9 消防団)			入校者数	25 人 (14 消防団)		
部長又は部長と同等の実務経験を有する者			対象者	分団長、副分団長の階級にある者		
			集合写真			
消防団名	階 級	氏 名	入 校 者 名 簿	消防団名	階 級	氏 名
鹿 角 市	部 長	阿 部 直 敏		鹿 角 市	副分団長	安 保 光 徳
北 秋 田 市	部 長	湊 秀 次		大 館 市	分 団 長	安 部 靖 彦
八 郎 潟 町	部 長	渡 部 仁 志		北 秋 田 市	副分団長	三 浦 広 義
八 郎 潟 町	部 長	菊 地 宏 明		能 代 市	副分団長	簾 内 裕 樹
秋 田 市	部 長	斉 藤 毅		三 種 町	副分団長	高 橋 幸 喜
秋 田 市	部 長	鎌 田 哲 也		男 鹿 市	分 団 長	佐 藤 勝 則
秋 田 市	班 長	金 森 秀 幸		八 郎 潟 町	副分団長	小 林 広 樹
秋 田 市	部 長	夏 井 均		八 郎 潟 町	副分団長	北 嶋 誠 悦
秋 田 市	部 長	山 内 満		秋 田 市	分 団 長	山 陰 有 一
由利本荘市	部 長	池 田 一 治		秋 田 市	分 団 長	佐 藤 守
由利本荘市	班 長	堀 健 悦		秋 田 市	分 団 長	榎 清 一
由利本荘市	部 長	眞 坂 彰 宏		由利本荘市	副分団長	東海林 一
由利本荘市	班 長	三 浦 誠		由利本荘市	副分団長	村 上 憲 四 郎
由利本荘市	部 長	嶽 石 元 気		に か ほ 市	分 団 長	渡 邊 剣
に か ほ 市	部 長	須 藤 元		に か ほ 市	副分団長	加 藤 朋 光
に か ほ 市	副 部 長	佐 藤 正 好		に か ほ 市	副分団長	須 田 剛 彦
に か ほ 市	班 長	佐 藤 新 一 郎		大 仙 市	副分団長	深 浦 豊
大 仙 市	副分団長	渡 邊 憲 幸		横 手 市	分 団 長	新 田 隆 一
仙 北 市	部 長	小 野 昭 己		横 手 市	分 団 長	最 上 浩
湯 沢 市	班 長	田 口 昇 平		横 手 市	分 団 長	高 橋 保
湯 沢 市	部 長	近 野 和 範		横 手 市	分 団 長	佐 々 木 健
湯 沢 市	部 長	竹 内 満		湯 沢 市	部 長	遠 田 英 樹
				湯 沢 市	副分団長	三 浦 善 吉
			湯 沢 市	副分団長	高 橋 嘉 之	
			東 成 瀬 村	副分団長	谷 藤 哲 也	

支部情報アラカルト

令和 5 年度美郷町消防団の

活動実績を紹介します

令和 5 年度は、長期化した新型コロナウイルスの沈静化を受け、消防団活動の制限を解除することができました。そこで、この 1 年間の美郷町消防団の主な活動実績をご紹介します。

6 月 11 日、美郷町「雁の里」山本公園消防訓練場にて、小型ポンプ操法・規律訓練講習会、水防講習会を実施しました。

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部から講師を招き、大会に向けて小型ポンプ操法の動き等を確認しました。並行して新入団員向けに規律訓



水防工法「川倉工」

練を実施し、消防団員の基本動作等を学びました。

水防講習会では、消防団 O B を講師に招き、水防工法「川倉工」を実技しました。このような技能・知識を絶やさず継承するため、今後も継続的な実施を考えています。

8 月 19 日、秋田県消防学校で開催された「第 60 回秋田県消防操法大会」に出場しました。各地区大会を勝ち抜いた精鋭団員が一堂に会するなか、「小型ポンプ操法の部」で、当町消防団第 2 分団が日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、みごと優勝を果たしました。この結果に驕ることなく、令和 8 年度の全国大会を目指して精進を続けてまいります。

10 月 21 日及び 22 日、美郷町総合体育館リリオス及び公民館で開催され



美郷フェスタ 子供ふれあい活動(応急手当)

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和 6 年		令和 5 年			同期比較	
	3 月	累計	3 月	累計	年計	3 月	累計
建 物	17	48	25	59	184	- 8	- 11
林 野	3	3	5	5	25	- 2	- 2
車 輛	2	7	4	8	25	- 2	- 1
その他	7	11	9	13	84	- 2	- 2
合 計	29	69	43	85	318	- 14	- 16
死者数	6	9	6	8	21	0	1
負傷者数	7	20	14	23	67	- 7	- 3

た「美郷フェスタ」で消防団 P R 活動を実施しました。消防ブースを設けて、子供ふれあい活動、町人劇団による団員募集の呼びかけ、よしもと芸人のお笑いステージ、消防団員とのトークセッションなど、消防団要素盛りだくさんでイベントを盛り上げました。

現在、美郷町消防団は、団員募集に力を入れていきます。YouTube に P R 動画がありますので、ぜひ QR コードからご覧ください。

(情報提供 大曲仙北美郷支部)



モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
防災事業部

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311